2015年(平成27年)10月2日(金曜日) 隔日刊 (月・水・金発行)

日本食糧新聞

日本食糧新聞社
東京都中央区八重洲1-9-9
東京建物ビル(〒103-0028)
www.nissyoku.co.jp
編集・広告☎03(3432)3103
購読☎03(3432)2927
東京都港区西新橋2-21-2
第一南桜ビル(〒105-0003)
[支社局]北海道☎011(866)0721/東北☎022(225)2721/新潟・関東☎03(3432)5700/長野☎026(228)5520/静岡☎054(289)5802/中部☎052(571)7318/関西☎06(6314)4181/中国☎082(223)2535/九州☎092(291)1790
購読料 半年30,882円
(税別・前金)
©日本食糧新聞社2015年

海老協会

ベストシニア大賞 戸井氏ら表彰

エビ食普及と消費拡大へ

エビに関わる企業と連携し、国内のエビ食普及促進活動を行う日本海老協会は9月20日、神奈川県川崎市のグランツリー武蔵小杉で、「2015年第2回ベストシニア大賞授賞式」を開催した。同賞は敬老の日に当たる9月第3月曜日が「海老の日」に制定された記念イベントとして昨年から開始し、現役で活躍する長寿の人やエビ関係業界に貢献してきた長寿の人を表彰する。今年は流通サービス、地域貢献、外食産業、養殖生産、輸入開発、食卓笑顔の各部門から、戸井和久イトーヨーカ堂代表取締役社長ら6人を表彰した。

各界で活躍する6人にベストシニア大賞が贈られた

藤井務代表理事は、「日本で食べられるエビは栄養価・品質共に高く、大人から子どもまでが喜ぶごちそうの主役」とし、長寿大国日本で健康に活躍する受賞者をたたえ、今後の活躍を祈念した。

戸井社長は受賞に際し、「アクティブシニアのユーザビリティーを重視した店づくりをさらに進めるとともに、若い人にもたくさんエビを食べてもらいたい」と語った。イトーヨーカ堂では、これまでに店舗の階段を二重にしたり、エスカレーターの低速運転を行うなどシニアの使い勝手を重視した店舗運営を行っている。

日本海老協会は14年に設立。百貨店、調味料、食品卸、菓子、外食産業、寿司組合、テレビ通販、資材など多岐にわたる賛同企業43者が加盟し、エビ食普及と消費拡大に向け、水産業界を超えた他業種とのコラボレーションを行っている。

〈第2回ベストシニア大賞受賞者〉▽流通サービス部門＝戸井和久イトーヨーカ堂代表取締役社長▽地域貢献部門＝松本等武蔵小杉周辺再開発協議会前会長▽外食産業部門＝用松靖弘テンコーポレーション代表取締役社長▽養殖生産部門＝冨田ゆきしIMTエンジニアリング代表取締役社長▽輸入開発部門＝伊藤滋マルハニチロ代表取締役社長▽食卓笑顔部門＝女優・中村玉緒氏

（小澤弘教）